

# メディアアートにおけるリーガルデザインの実践的 ガイドラインの研究：山口情報芸術センター[YCAM] におけるオープン化をともなう事例から

坂井，洋右

<http://hdl.handle.net/2324/2236241>

---

出版情報：九州大学，2018，博士（芸術工学），課程博士  
バージョン：  
権利関係：



氏 名 : 坂井 洋右

論 文 名 :

メディアアートにおけるリーガルデザインの実践的ガイドラインの研究  
・ 山口情報芸術センター[YCAM]におけるオープン化をともなう事例から

区 分 : 甲

## 論 文 内 容 の 要 旨

本研究は、メディアアートにおける、創作活動を促進するための、リーガルデザインの実践的ガイドラインを設計することを目的としている。リーガルデザインの定義や期待される効果はさまざまあるが、リーガルデザインをメディアアートにおける制作の現場で効果的に展開するための、実践的な知見や方法論は見当たらなかった。これについて、山口情報芸術センター[YCAM]における、メディアアートの文化や背景に適した知的財産運用の方法のひとつと考えられるオープン化に関するリーガルデザインの実践を通して、推奨事項や注意点などを検討し、ガイドラインとして示した。

YCAMでのオープン化について、実践の概要(総論)(第2章)、法的なツールの開発(第3-4章)、オープン化の原則の検討(第5章)を示した。実践の概要では、オープン化の導入についての検討プロセス、一連のオープン化の実践、および併行して行ってきた法的なツールの制作、関連事項の検討をあげた。法的なツールの開発については、まず、創造性の向上を志向した、成果のオープン化を伴う共同研究開発のための契約を設計し、これを実現する契約書のひながた **GRP Contract Form** を開発し、メディアアート分野において実利用したことについて述べた。加えて、参加者が制作した成果のオープン化をともなう、参加型イベントのための法的事項の設計、および、これを実現する同意書の設計について述べた。対象となったプロジェクトは、ワークショップシリーズ「YCAM サマースクール」(2013)、参加型展覧会「Think Things—『もの』と『あそび』の生態系」(2015)、「2015 YCAM スポーツ・ハッカソン」(2015)である。オープン化の原則の検討では、オープン化の導入の検討や実施をより効果的に進め、また、これまでのオープン化の実践のノウハウや経験を共有するための、オープン化の原則の検討、および、関連して制作しているドキュメントの概要について述べた。

本実践でのリーガルデザインを振り返り、リーガルデザインの成果と可能性、課題とアップデート、リーガルデザインの面白さ、実作業で重要なことについて、考察した。考察を通して示された成果と可能性に関する要素を分類し、既存のリーガルデザインの定義との関連について検討した。その結果、分類された要素は既存の定義と関連づけることができ、大きく矛盾するところはなかった。本実践は、既存のリーガルデザインの文脈における、メディアアートにおける具体的な実践であることを示したといえる。これらの要素をもとに、メディアアートにおけるリーガルデザインの実践的ガイドラインを設計した。

このガイドラインは、5つの大項目に分けて表現している。まず、リーガルデザインの中心的な役割として"コンセプトの実現と促進"をあげ、さまざまな効果をもたらす"ツールの開発と利活用"が続く。プロジェクトの実施期間内の事項については"ファシリテーションの促進・体験の改善"、将来のリーガルデザインにつながる(プロジェクト実施期間外での)事柄については、プロジェ

クトに関わる人々への影響について "関わる人々の成長"、プロジェクトや組織の外とのつながりについては "Input / Output" を示している。それぞれの大項目に数件の小項目を含め、また、解説文を加えた。

今後、より包括的な情報を提供するため、事例・補足事項の追記や、リーガルデザインを支援するためのツールとしての評価、アップデートを行いたいと考えている。メディアアートでの利用を当初目的としているが、異なる領域での利活用、また、リーガルデザインだけでなく経営層を含めたより幅広いユーザ、プロセスでの利活用も射程に含めていきたい。

このガイドラインは、メディアアートにおいて、ある法的な手法を、デザインの文脈で捉えなおし、実践し、その知見の共有を試みた例ともいえる。法務という(法律のプロフェッショナルによって運営される)領域に、デザインが(アマチュアリズムとしての特性を発揮しつつ)関与し、境界を超えて法の可能性を模索した結果でもある。他の領域においてもこうしたリーガルデザインの知見が蓄積、共有され、相互に関与しつつ、リーガルデザインの創造的な環境がもたらされることが望まれる。